

令和 7 年 4 月 2 1 日

交 通 事 故 概 況

令和 7 年 3 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（3月末計上数（確定数））

1 令和7年3月末の交通事故発生状況

区分\内容	3 月中		3 月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	678	-87	2,051	-329
死者数（人）	7	4	32	20
傷者数（人）	823	-115	2,414	-481

[過去10年、3月中3月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過 去 平 均		R7年
											10か年	5か年	
3月中死者数	10	8	13	6	10	9	8	2	4	3	7	5	7
3月末死者数	26	29	23	33	19	26	24	17	20	12	23	20	32
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（3月中）

順位	1	3	7
都道府県名	東京 埼玉	神奈川 千葉 愛知	北海道
死者数	14	10	7

都道府県別（3月末）

順位	1	2	4	5
都道府県名	神奈川 東京 千葉	北海道	埼玉	
死者数	43	35	32	31

(1) 3月中の死亡事故（死者7人）

- 事故類型別：人対車両、正面衝突が各々2人(28.6%)
- 道路別：道道が4人(57.1%)、国道が3人(42.9%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地カーブが各々2人(28.6%)
- 発生時間別：4～6時、16～18時が各々2人(28.6%)
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：40歳代運転者による死者が2人(28.6%)
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：操作不適が2人(28.6%)
- 死者年齢別：30歳代、50歳代、高齢者の死者が各々2人(28.6%)

(2) 3月末の死亡事故（死者32人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が11人34.4%（うち前方不注意が5人45.5%）
 - ・正面衝突が8人25.0%（うち操作不適が3人37.5%、前方不注意が2人25.0%）
 - ・車両単独が7人21.9%（うち操作不適が6人85.7%）
- 道路別：
 - ・国道が11人34.4%（うち正面衝突が4人36.4%、人対車両、車両単独が各々2人18.2%）
 - ・市町村道が10人31.3%（うち人対車両が5人50.0%、車両単独が2人20.0%）
 - ・道道が8人25.0%（うち人対車両、正面衝突が各々3人37.5%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が9人28.1%（うち人対車両が5人55.6%）
 - ・市街地直線が8人25.0%（うち人対車両が3人37.5%、正面衝突が2人25.0%）
 - ・非市街地直線が8人25.0%（うち正面衝突が5人62.5%、車両単独が2人25.0%）
- 発生時間別：
 - ・4～6時が6人18.8%（うち人対車両が4人66.7%）
 - ・16～18時が6人18.8%（うち正面衝突が2人33.3%）
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：
 - ・高齢運転者による死者が8人25.0%（うち車両単独が3人37.5%、正面衝突が2人25.0%）
 - ・50歳代運転者による死者が7人21.9%（うち正面衝突が3人42.9%、人対車両が2人28.6%）
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：
 - ・前方不注意が10人31.3%（うち人対車両が5人50.0%、正面衝突が2人20.0%）
 - ・操作不適が9人28.1%（車両単独が6人66.7%、正面衝突が3人33.3%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が15人46.9%（うち人対車両が5人33.3%、車両単独が4人26.7%）
 - ・50歳代の死者が5人15.6%（うち正面衝突が2人40.0%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は6人(33.3%)であり、その4人(66.7%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

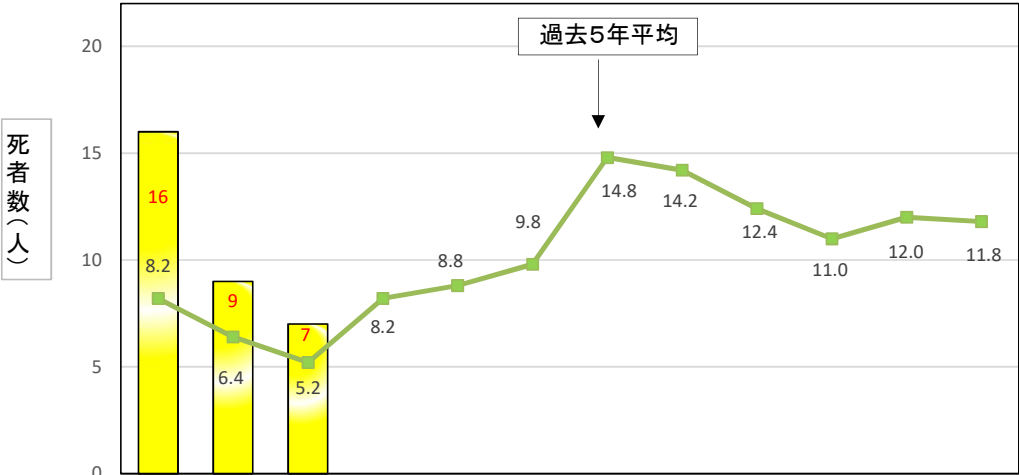
(2) 方面別発生状況

3月中の死者数は札幌方面が4人(57.1%)、釧路方面が2人(28.6%)、北見方面が1人(14.3%)となっている。
3月末の死者数は札幌方面が16人(50.0%)、釧路方面が8人(25.0%)、旭川方面、北見方面が各々3人(9.4%)、函館方面が2人(6.3%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
3月中	全道	678	-87	7	4	823	-115
	札幌方面	503	-76	4	1	601	-113
	函館方面	43	10			57	18
	旭川方面	70	9			85	5
	釧路方面	42	-29	2	2	54	-26
	北見方面	20	-1	1	1	26	1
3月末	全道	2,051	-329	32	20	2,414	-481
	札幌方面	1,499	-313	16	8	1,755	-480
	函館方面	135	19	2	2	171	43
	旭川方面	209	16	3	1	249	4
	釧路方面	157	-52	8	8	179	-52
	北見方面	51	1	3	1	60	4

(3) 月別発生状況の推移

3月中の死者数は7人で過去5年平均5.2人を上回ってる。
3月末の死者数は32人で過去5年平均19.8人を上回ってる。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7										32
年間累計	16	25	32										
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	122.8

(4) 都道府県別死者数

3月中は東京都、埼玉県が各々14人で最も多く、次いで神奈川県、千葉県、愛知県が各々10人、北海道は7人で7位となっている。
3月末は神奈川県が43人で最も多く、次いで東京都、千葉県が各々35人、北海道が32人、埼玉県が31人となっている。

区分\都道府県	東京	埼玉	神奈川	千葉	愛知	大阪	北海道	福岡	栃木	福島	全国
3月中死者数	14	14	10	10	10	8	7	7	7	7	191
ワースト順位	1	1	3	3	3	6	7	7	7	7	—
前年比	1	3	-2	0	-3	3	4	2	7	4	14
増減率(%)	7.7	27.3	-16.7	0.0	-23.1	60.0	133.3	40.0	0.0	133.3	7.9

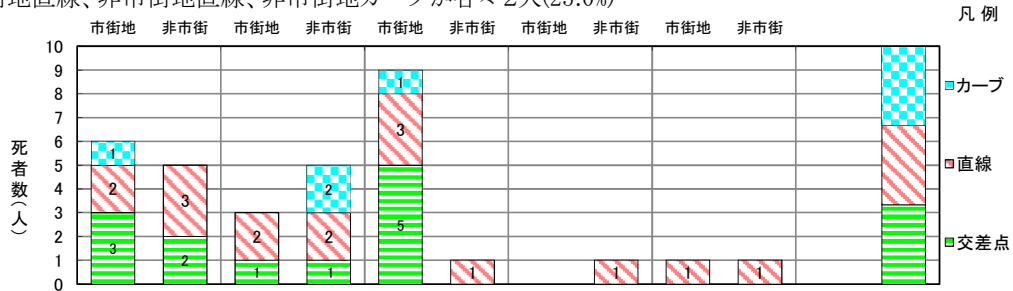
区分\都道府県	神奈川	東京	千葉	北海道	埼玉	大阪	愛知	福岡	兵庫	静岡	全国
3月末死者数	43	35	35	32	31	26	25	23	23	21	614
ワースト順位	1	2	2	4	5	6	7	8	8	10	—
前年比	18	1	0	20	12	1	-10	0	-7	1	32
増減率(%)	72.0	2.9	0.0	166.7	63.2	4.0	-28.6	0.0	-23.3	5.0	5.5

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が11人(34.4%)、市町村道が10人(31.3%)、道道が8人(25.0%)となっている。

- ・ 国道は市街地交差点、非市街地直線が各々3人(27.3%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が5人(50.0%)、市街地直線が3人(30.0%)
- ・ 道道は市街地直線、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人(25.0%)

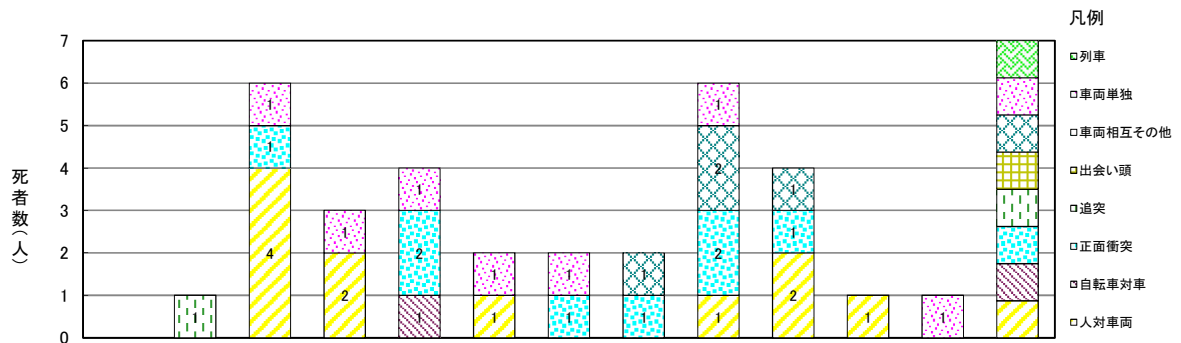


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	11	8	10	1	2	32
構 成 率 (%)	34.4	25.0	31.3	3.1	6.3	100.0
過去5年構成率	40.4	28.3	23.2	3.0	5.1	100.0

(2) 時間別

4～6時、16～18時が各々6人(18.8%)となっている。

- ・ 4～6時は人対車両が4人(66.7%)
- ・ 16～18時は正面衝突が2人(33.3%)

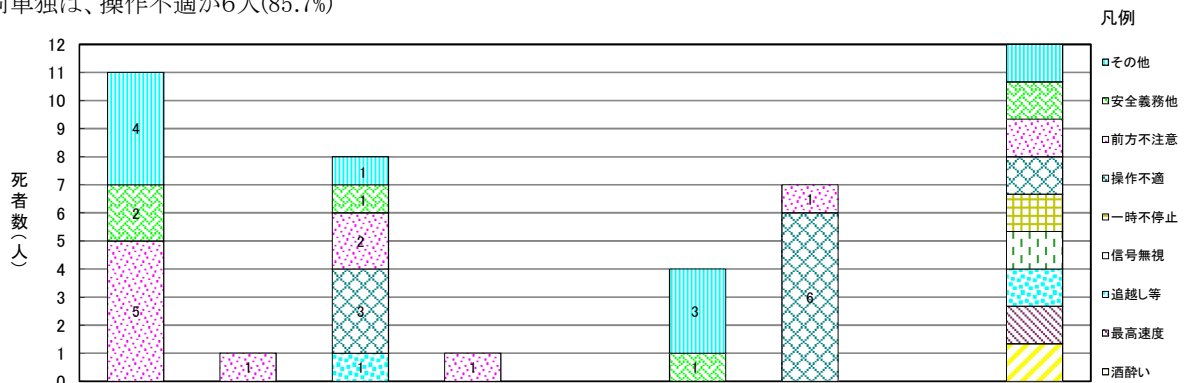


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数		1	6	3	4	2	2	2	6	4	1	1	32
構 成 率 (%)		3.1	18.8	9.4	12.5	6.3	6.3	6.3	18.8	12.5	3.1	3.1	100.0
過去5年構成率	3.0	2.0	4.0	7.1	8.1	16.2	17.2	14.1	9.1	10.1	5.1	4.0	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が11人(34.4%)、正面衝突が8人(25.0%)、車両単独が7人(21.9%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が5人(45.5%)
- ・ 正面衝突は、操作不適が3人(37.5%)、前方不注意が2人(25.0%)
- ・ 車両単独は、操作不適が6人(85.7%)



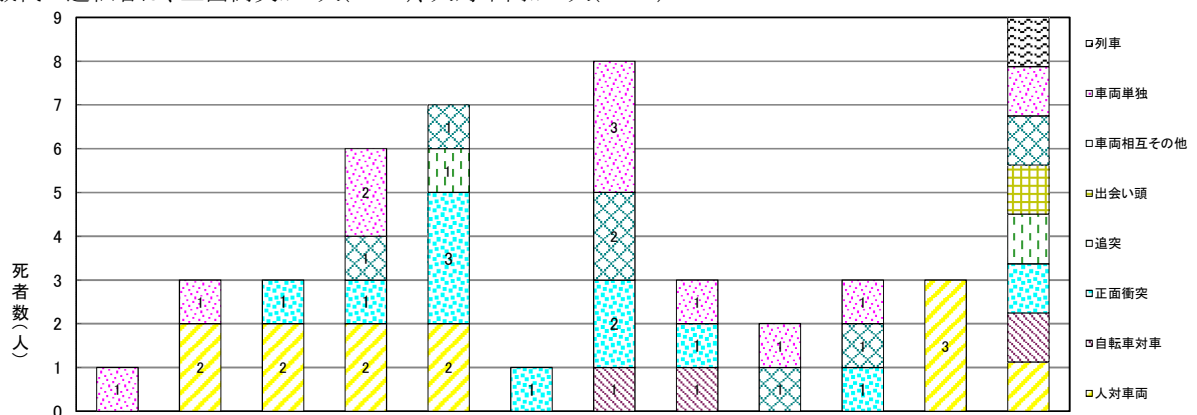
類型別 区分\	人対車両	自転車 対 車	車 両 相 互				車両单独	列 車	計
			正面衝突	追 突	出会い頭	その他			
死 者 数	11	1	8	1		4	7		32
構 成 率 (%)	34.4	3.1	25.0	3.1		12.5	21.9		100.0
過去5年構成率	30.3	2.0	28.3	1.0	15.2	3.0	19.2	1.0	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が8人(25.0%)、50歳代の運転者が7人(21.9%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が3人(37.5%)、正面衝突が2人(25.0%)
- ・ 50歳代の運転者は、正面衝突が3人(42.9%)、人対車両が2人(28.6%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	1	3	3	6	7	1	8	3	2	3	3	32
構成率(%)	3.1	9.4	9.4	18.8	21.9	3.1	25.0	9.4	6.3	9.4	9.4	100.0
過去5年構成率	3.0	3.0	11.1	24.2	12.1	9.1	36.4	12.1	7.1	17.2	1.0	100.0

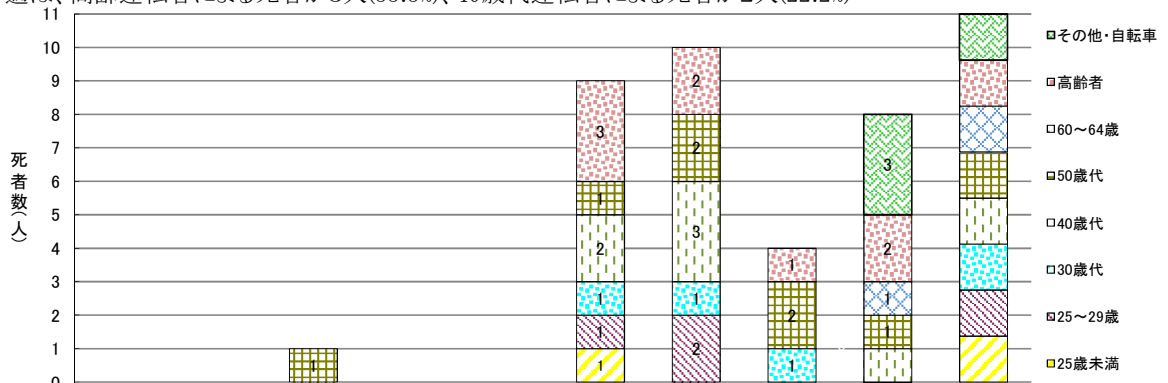
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが10人(31.3%)、次いで操作不適によるものが9人(28.1%)となっている。

- ・ 前方不注意は、40歳代運転者による死者が3人(30.0%)、25～29歳運転者、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々2人(20.0%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が3人(33.3%)、40歳代運転者による死者が2人(22.2%)

凡例



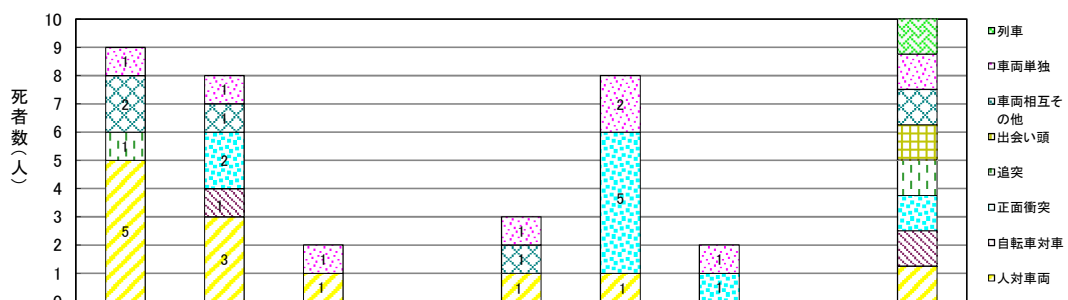
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数			1			9	10	4	8	32
構成率(%)			3.1			28.1	31.3	12.5	25.0	100.0
過去5年構成率			5.1	2.0	5.1	7.1	18.2	30.3	14.1	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が9人(28.1%)、市街地直線、非市街地直線が各々8人(25.0%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が5人(55.6%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が3人(37.5%)、正面衝突が2人(25.0%)
- ・ 非市街地直線は、正面衝突が5人(62.5%)、車両単独が2人(25.0%)

凡例



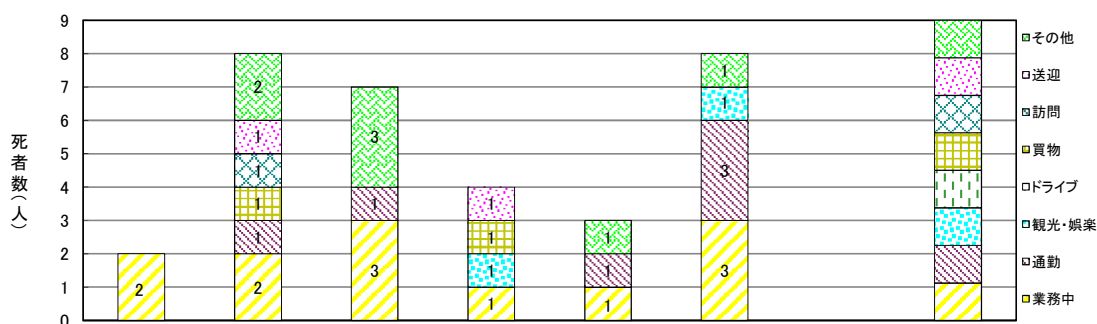
地形道路形状別	市街地				非市街地				計
区分\	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	9	8	2	19	3	8	2	13	32
構成率(%)	28.1	25.0	6.3	59.4	9.4	25.0	6.3	40.6	100.0
過去5年構成率	29.3	13.1	5.1	47.5	10.1	32.3	10.1	52.5	100.0

(7) 曜日別

月曜日、金曜日が各々8人(25.0%)となっている。

- ・月曜日は、業務中が2人(25.0%)
- ・金曜日は、業務中、通勤が各々3人(37.5%)

凡例

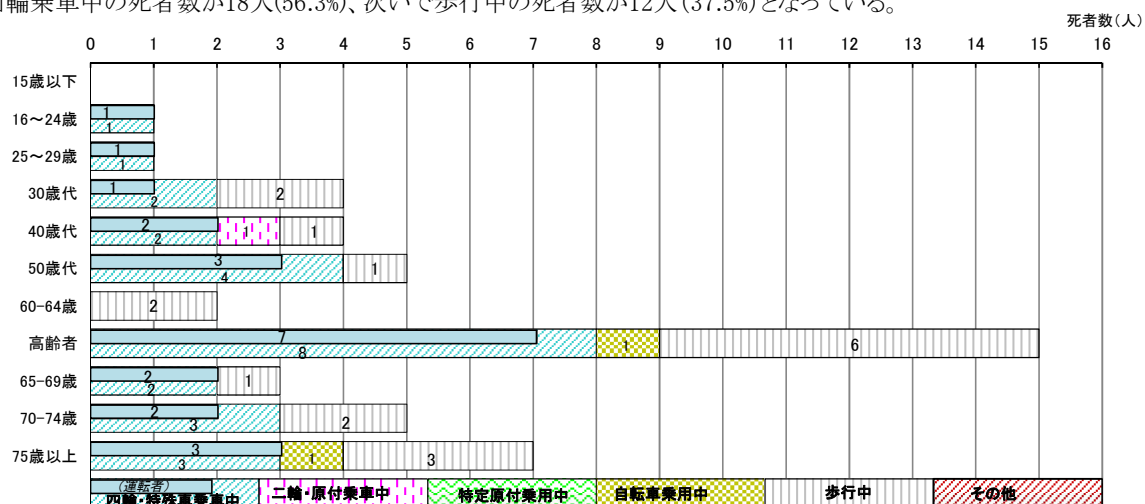


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2	8	7	4	3	8		32
構成率 (%)	6.3	25.0	21.9	12.5	9.4	25.0		100.0
過去5年構成率	13.1	10.1	16.2	12.1	16.2	14.1	18.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が15人(46.9%)、次いで50歳代の死者が5人(15.6%)となっている。

四輪乗車中の死者数が18人(56.3%)、次いで歩行中の死者数が12人(37.5%)となっている。

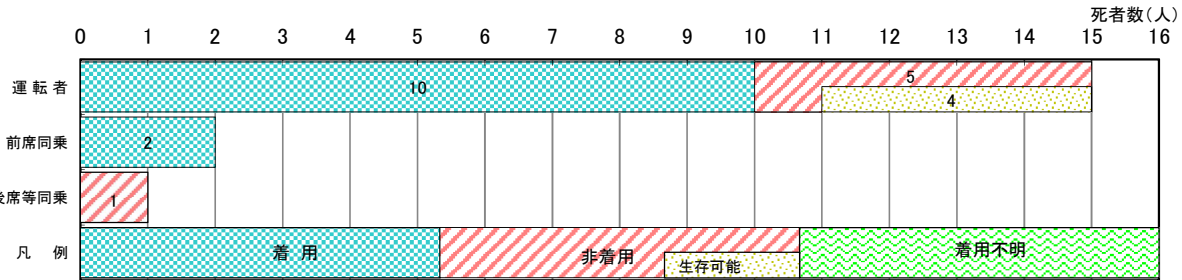


状態別 年齢層別	四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自 転 車 乗 用 中	歩行中	その他	計	構 成 率	5年構成率
15歳以下 死 者 数									2.0
16~24歳 死 者 数	1						1	3.1	1.0
25~29歳 死 者 数	1						1	3.1	1.0
30歳代 死 者 数	2				2		4	12.5	8.1
40歳代 死 者 数	2	1			1		4	12.5	10.1
50歳代 死 者 数	4				1		5	15.6	11.1
60~64歳 死 者 数					2		2	6.3	10.1
高齢者 死 者 数	8			1	6		15	46.9	56.6
65~69歳 死 者 数	2				1		3	9.4	14.1
70~74歳 死 者 数	3				2		5	15.6	7.1
75歳以上 死 者 数	3			1	3		7	21.9	35.4
計 死 者 数	18	1		1	12		32	100.0	
構 成 率	56.3	3.1		3.1	37.5		100.0	—	—
過去5年構成率	63.6	2.0		2.0	30.3	2.0	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別
四輪乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は6人(33.3%)となっている。
非着用者の6人のうち4人(66.7%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中	着用				非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可	計	
令和7年	18	12	10	2	6	5	4	1	16	
構成率(%)	100.0	66.7	83.3	16.7	33.3	83.3	80.0	16.7		

イ 年齢層別
シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が3人(50.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用		1	1	2	3		5	3	2			12
構成率(%)		8.3	8.3	16.7	25.0		41.7	25.0	16.7			100.0
ヘルト非着用	1		1		1		3	2	1			6
構成率(%)	16.7		16.7		16.7		50.0	33.3	16.7			100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別
シートベルト非着用者6人の損傷加害部位をみるとドア・窓、座席が各々2人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルト着用			4	1					4	1	2	
構成率(%)			33.3	8.3					33.3	8.3	16.7	
ヘルト非着用	1	1				2			2			
構成率(%)	16.7	16.7				33.3			33.3			
運転者	1	1				1			2			
構成率(%)	16.7	16.7				16.7			33.3			
同乗者						1						
構成率(%)						16.7						

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)
冬型事故の令和5年度及び6年度(ここでは令和5年11月～令和7年3月)の計上は次のとおり。

(死者数 人)

年度区分		死 者 数					
		11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	死亡事故	6	13	16	9	7	51
	冬型事故	1	5	2	5	2	15
	スリップ	1	5	2	4	2	14
	視界不良						
	わだち				1		1
	その他						
令和5年度	死亡事故	15	12	6	3	3	39
	冬型事故	3	1	2	1		7
	スリップ	3	1		1		5
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						